

停電に対する技術対策（酪農）

停電が想定される場合は、まず必要電力量を確認し、発電機を手配しましょう。
停電が発生した場合は、下記を参考に対策に努めましょう。

1 停電発生時の対応

（１） 発電機が用意できない場合

- ①搾乳牛への給水を制限する。
- ②搾乳牛への濃厚飼料の給与量を制限する。
- ③搾乳刺激を避けるため、牛舎内の出入りは極力控える。
- ④漏乳牛の乳房炎を防ぐため、環境衛生資材（クリーンサポート等）を牛床に散布する。

（２） 発電機が用意できた場合

- ①発電能力に合わせ、必要な機械の優先順位をつけ、一つずつスイッチを入れる。
 - ※ 発電機に急激な負荷を与えない。
 - ※ 搾乳関連機器を優先し、そのほかの機器の使用は必要最小限にする。
- ②共同で発電機を利用している場合等、搾乳が1日1回になる場合は、（１）の手順を参考に飼養管理を行う。
- ③バルククーラーの攪拌が十分でないと細菌数が異常に高まることがあるため、出荷前は細菌検査を実施する。

2 通電後の対応

- （１）優先順位に従いブレーカーを戻し、ミルクカーなど電気を動力源とする機械が正常に作動するか速やかに点検する。
- （２）ミルクカー、バルククーラーの洗浄・殺菌を行う。
- （３）直ちに搾乳を行う。ただし、入念に前搾りを行い、PL テスターやストリップカップを用い凝固物（ブツ）の有無を確認し、乳房炎に罹患している場合は治療を行う。
- （４）牛の体調を確認し、異常牛はすみやかに獣医師の診断を受ける。

※自家発電機は、定期的に動作確認を行い、いざという時に使用可能な状態にしておきましょう。

安全性を第一に考えて行動しましょう。

■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター本所(中頓別町 TEL01634-6-1414) 支所(豊富町:TEL0162-82-2119)